

介護職員初任者研修カリキュラム(通信課程用)

事業者名 生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ
 研修事業の名称 パルシステム神奈川ゆめコープ介護職員初任者研修

| 1 職務の理解 (6 時間) | | | | | |
|---------------------------|-----------|---|----------|-------------------------|---|
| 項目名 | 時間 (h) | 講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要 | | | |
| ① 多様なサービスの理解 | 3 | <添削課題番号>1(1)問題1～5 <添削課題出題ポイント> ・介護保険サービス ・介護保険外サービス | | | |
| ② 介護職の仕事内容や働く現場の理解 | 3 | <添削課題番号>1(2)問題1～4 <添削課題出題ポイント> ・居宅、施設の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容 ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の具体的なイメージ ・ケアプラン作成からサービスの提供に至るまでの一連の業務の流れとチームアプローチ、他職種など、地域の社会資源との連携 | | | |
| 合計 | 6 | | | | |
| 2 介護における尊厳の保持・自立支援 (9 時間) | | | | | |
| 項目名 | 時間 (h) | 通学 時間 | 通信 時間 | 添削 課題 番号 | 講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要 |
| ① 人権と尊厳を支える介護 | 4 | 0 | 4 | 2(1) 問題1 ～ 問題5 | <添削課題出題ポイント> ・QOL ・WHO ・SF-36 ・ノーマライゼーション ・尊厳の保持と自立支援 ・虐待の定義 ・高齢者虐待 ・プライバシーを傷つける介護のポイント |
| ② 自立に向けた介護 | 5 | 0 | 5 | 2(2) 問題1 ～ 問題5 | <添削課題出題ポイント> ・自立支援 ・自己選択・自己決定 ・介護職の在り方 ・介護予防 ・地域支援事業等 |
| 合計 | 9 | 0 | 9 | | |

| 3 介護の基本（6時間） | | | | | |
|-----------------------------|-----------|----------|----------|-------------------------|---|
| 項目名 | 時間 (h) | 通学 時間 | 通信 時間 | 添削 課題 番号 | 講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要 |
| ① 介護職の役割、専門性、 多職種との連携 | 1.5 | 0 | 1.5 | 3(1) 問題1 ～ 問題4 | <添削課題出題ポイント> ・介護の基本視点 ・家族介護と専門職の介護の違い(専門性) ・介護職の基本的役割 ・多職種との連携 ・地域包括ケアシステム |
| ② 介護職の職業倫理 | 1.5 | 0 | 1.5 | 3(2) 問題1 ～ 問題3 | <添削課題出題ポイント> ・日本介護福祉士会倫理綱領 ・利用者のプライバシー ・介護職の倫理 ・社会福祉士及び介護福祉士法 ・4つの倫理的判断の視点等 |
| ③ 介護における安全の確保 とリスクマネジメント | 1.5 | 0 | 1.5 | 3(3) 問題1 ～ 問題4 | <添削課題出題ポイント> ・リスクマネジメント ・事故予防 ・感染対策 ・安全対策 |
| ④ 介護職の安全 | 1.5 | 0 | 1.5 | 3(4) 問題1 ～ 問題3 | <添削課題出題ポイント> ・介護職の健康管理（腰痛予防、感染予防） ・ストレスマネジメント ・ストレッサー ・労働者の心の健康の保持増進の指針 ・メンタルヘルスケア ・こころの健康づくり計画 ・腰痛予防等 |
| 合計 | 6 | 0 | 6 | | |

| 4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 (9時間) | | | | | |
|-----------------------------|-----------|----------|----------|-------------------------|---|
| 項目名 | 時間 (h) | 通学 時間 | 通信 時間 | 添削 課題 番号 | 講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要 |
| ① 介護保険制度 | 3 | 0 | 3 | 4(1) 問題1 ～ 問題4 | <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 各サービスや地域支援の役割 財源構成と保険料負担の大枠 サービスのしくみ、種別、内容 要介護認定、審査、判定 介護保険審査会 介護サービス事業者の指定・更新 高齢化比率 介護保険制度の目的、保険者、被保険者、財源、保険料額等 |
| ② 医療との連携とリハビリテーション | 3 | 0 | 3 | 4(2) 問題1 ～ 問題4 | <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 医行為の考え方 介護福祉士等が行う医行為 リハビリテーション 作業療法士 介護保険法等 |
| ③ 障害福祉制度及びその他制度 | 3 | 0 | 3 | 4(3) 問題1 ～ 問題4 | <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> 代表的な障害者福祉サービス サービスのしくみ、種別、内容 サービス利用の流れ 権利擁護 成年後見制度、個人情報保護法、日常生活自立支援事業 生活保護の原理、原則 障害者総合支援法 憲法と生活保護制度・成年後見制度 高齢者虐待防止法 重度訪問介護、同行援護、就労継続支援、共同生活援助、自立支援医療給付 生活保護の基本原理 日常生活自立支援事業等 |
| 合計 | 9 | 0 | 9 | | |

| 5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間） | | | | | |
|--------------------------|-----------|----------|----------|-------------------------|--|
| 項目名 | 時間 (h) | 通学 時間 | 通信 時間 | 添削 課題 番号 | 講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要 |
| ① 介護におけるコミュニケーション | 3 | 0 | 3 | 5(1) 問題1 ～ 問題5 | <添削課題出題ポイント> ・共感、受容、傾聴、気付き ・家族の心理、葛藤の存在 ・言語、視覚、聴覚障害者とのコミュニケーション上の留意点 ・コミュニケーションの技法 |
| ② 介護におけるチームコミュニケーション | 3 | 0 | 3 | 5(2) 問題1 ～ 問題4 | <添削課題出題ポイント> ・記録の機能と重要性、主要なポイント ・記録の意味、目的、方法 ・事故報告書、裁判、ヒヤリハット ・サービス担当者会議 ・ケアカンファレンスの意義等 |
| 合計 | 6 | 0 | 6 | | |
| 6 老化の理解（6時間） | | | | | |
| 項目名 | 時間 (h) | 通学 時間 | 通信 時間 | 添削 課題 番号 | 講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要 |
| ① 老化に伴うこころとからだの変化と日常 | 3 | 0 | 3 | 6(1) 問題1 ～ 問題4 | <添削課題出題ポイント> ・加齢、老化に伴う変化（生理的变化） ・加齢、老化に伴う変化（心身の変化） ・社会面・身体面・精神面・知的能力面に着目した心理的特徴(社会的立場の喪失感、運動機能低下による無力感・羞恥心、知的機能低下による意欲の低下、感覚機能低下によるストレス・疎外感) ・高齢者が低栄養になりやすい原因と影響 |
| ② 高齢者と健康 | 3 | 0 | 3 | 6(2) 問題1 ～ 問題4 | <添削課題出題ポイント> ・高齢者に多い疾病(症状・特徴・治療・生活上の留意点・疾病による症状や訴え) ・高齢者の意識障害 ・HDS-R ・廃用症候群、生活習慣 ・脳血管疾患、糖尿病、治療と予防 ・老人性高血圧の特徴等 |
| 合計 | 6 | 0 | 6 | | |

| 7 認知症の理解(6時間) | | | | | |
|-------------------------|-------|-------|-------|-------------------------|---|
| 項目名 | 時間(h) | 通学時間数 | 通信時間数 | 添削課題番号 | 講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要 |
| ① 認知症を取り巻く状況 | 1.5 | 0 | 1.5 | 7(1) 問題1 ～ 問題3 | <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症ケアの理念(利用者中心の考え方) ・中核症状・脳の病気 ・認知症の人との関わり ・認知症の不安や混乱と介護 ・認知症の感情記憶等 |
| ② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 | 1.5 | 0 | 1.5 | 7(2) 問題1 ～ 問題3 | <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「物忘れ」と「認知症」の違い ・認知症の原因疾患とその症状、ケアのポイント ・認知症の概念や原因 ・アルツハイマー型症候群 ・脳血管障害認知症 ・認知症の診断、評価スケール等 |
| ③ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 | 1.5 | 0 | 1.5 | 7(3) 問題1 ～ 問題4 | <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症の中核症状、それに影響する要因 ・認知症の行動・心理症状(BPSD)、それに影響する要因 ・認知症の心理、行動のポイント ・認知症利用者への対応(生活環境、コミュニケーション) |
| ④ 家族への支援 | 1.5 | 0 | 1.5 | 7(4) 問題1 ～ 問題3 | <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族の気持ちや、家族が受けやすいストレス ・レスパイト |
| 合計 | 6 | 0 | 6 | | |

| 8 障害の理解 (3時間) | | | | | |
|---------------------------------------|-----------|-----------|-----------|-------------------------|---|
| 項目名 | 時間 (h) | 通学 時間数 | 通信 時間数 | 添削 課題 番号 | 講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要 |
| ① 障害の基礎的理解 | 0.75 | 0 | 0.75 | 8(1) 問題1 ～ 問題3 | <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の概念 ・ICF ・障害者基本法 ・障害者保健証 ・個人の尊重 ・インクルージョン ・QOLの向上等 |
| ② 障害の委託的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎知識 | 0.75 | 0 | 0.75 | 8(2) 問題1 ～ 問題3 | <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各障害の内容、特徴 ※精神障害、脳性まひ ・障害に応じた社会支援の考え方 ・障害の特性と介護上の留意点 ・脳性まひの定義とタイプ・症状 ・精神障害者手帳 ・統合失調症 ・アルコール依存症 ・聴覚障害 ・肢体不自由 ・内部障害等 |
| ③ 家族の心理、かかわり支援の理解 | 1.5 | 0 | 1.5 | 8(3) 問題1 ～ 問題3 | <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の受容のプロセス ・レスパイト |
| 合計 | 3 | 0 | 3 | | |

9 こころとからだのしくみと生活支援技術 (75 時間)

| | 項目名 | 時間 (h) | 通学 時間数 | 通信 時間数 | 添削 課題 番号 | 講義内容及び演習の実施方法 通信課題の概要 |
|--------------|-----------------------|-----------|-----------|-----------|----------------------------|--|
| 基本知識の学習 | ① 介護の基本的な考え方 | 6 | 0 | 6 | 9(1) 問題 1 ～ 問題 5 | <添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・理論に基づく介護 (ICFの視点、我流介護の排除) ・法的根拠に基づく介護 ・介護福祉士像 ・介護職の専門的役割 ・介護サービスの目標 ・日常と非日常 ・医療と介護のアプローチの違い ・「高齢者介護・自立支援システム研究会」報告書 ・厚労省「求められる介護福祉士像」等 |
| | ② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 | 6 | 0 | 6 | 9(2) 問題 1 ～ 問題 6 | <添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・学習と記憶 ・感情と意欲の基礎知識、いきがい ・老化や障害への適応行動、阻害要因 ・こころと行動 ・からだの状態が与える影響 ・マズローの欲求階層説 |
| | ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 | 6 | 0 | 6 | 9(3) 問題 1 ～ 問題 4 | <添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・人体の構造、機能 ・ボディメカニクス ・加齢と老化について |
| 生活支援技術の講義・演習 | ④ 生活と家事 | 3 | 0 | 3 | 9 (4) 問題 1 ～ 問題 5 | <添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・家事援助の基礎知識 ・生活支援の考え方 ・生活支援の意味 ・家事支援に関する介護職の自問視点 ・買い物支援 ・衣、食、住、代行のサービス内容 ・家事援助等 |
| 生活支援技術の講義・演習 | ⑤ 快適な住環境整備と介護 | 3 | 0 | 3 | 9 (5) 問題 1 ～ 問題 4 | <添削課題出題ポイント> <ul style="list-style-type: none"> ・快適な居住環境の基礎知識 ・住宅改修、バリアフリー ・福祉用具に関する留意点と支援方法 |

| | | | | |
|---|----------|-------------|-------------|---|
| <p>⑥ 整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p> | <p>6</p> | <p>3.75</p> | <p>2.25</p> | <p>9 (6) 問題 1 ～ 問題 5</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・身じたく ・衣類選定 ・着脱の支援と基本 ・整容の行動と関連技術・ ・口腔ケア <p><演習内容>3.75 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体状況に合わせた衣服の選択、着脱・身じたくを実技演習する。 ・整容行動・洗面の意義・効果を話し合う。 ・O J T等を想定した内容（現場の事例や最新情報等）で実施する。 |
| <p>⑦ 移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p> | <p>6</p> | <p>3.75</p> | <p>2.25</p> | <p>9 (7) 問題 1 ～ 問題 5</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動の意義 ・ボディメカニクス ・車いすの介助 ・杖歩行の介助 ・車いすからベッドへの介助 <p><演習内容>3.75 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者と介護者の双方が安全で安楽な方法、利用者の自然な動きの活用、残存能力の活用、自立支援、重心、重力の働きの理解、ボディメカニクスの基本原理、移乗介助の具体的な方法(車イスへの移乗の具体的な方法、全面介助でのベッド・車イス間の移乗、全面介助での車イス・洋式トイレ間の移乗)、移動介助(車イス・歩行器・つえ等)、視覚障害者の歩行介助、じょくそう予防、体位交換等を実技演習する。 ・O J T等を想定した内容（現場の事例や最新情報等）で実施する。 |
| <p>⑧ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p> | <p>6</p> | <p>3.75</p> | <p>2.25</p> | <p>9 (8) 問題 1 ～ 問題 5</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事の意義 ・栄養素と働き ・食事介助の手順 ・食事の姿勢 ・高齢者の誤嚥予防 ・口腔ケアの基礎知識 <p><演習内容>3.75 時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事と姿勢、食事に関する福祉用具の活用と介助方法等を実技演習する。 ・O J T等を想定した内容（現場の事例や最新情報等）で実施する。 |

| | | | | | |
|--|---|---|------|------|---|
| | <p>⑨ 入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p> | 6 | 3.75 | 2.25 | <p>9(9) 問題1 ～ 問題5</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・入浴、清潔を保つことの意義と目的 ・陰部の特徴と清拭時の留意点 ・入浴介助の注意事項 ・部分介助 ・全身清拭 <p><演習内容>3.75時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・羞恥心や遠慮への配慮、体調の確認、全身清拭(身体状況の確認、室内環境の調整、使用物品の準備と使用方法、全身の拭き方、身体の支え方)、目、鼻腔、耳、爪の清潔方法、陰部清浄(臥床状態での方法)、全身浴、足浴、清拭等を実技演習する。 ・OJT等を想定した内容(現場の事例や最新情報等)で実施する。 |
| | <p>⑩ 排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p> | 6 | 3.75 | 2.25 | <p>9(10) 問題1 ～ 問題4</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・排泄に関する基礎知識 ・介護職員が持つべき基本的視点 ・排泄を阻害するからだの要因 ・排泄用具の活用方法 <p><演習内容>3.75時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシーの確保、一部介助を要する利用者のトイレ介助の具体的方法、便秘の予防(水分の摂取量保持、食事内容の工夫/繊維質の食物を多く取り入れる、腹部マッサージ)、排泄関連用具の使用方法を学ぶ(ポータブルトイレ、差し込み便器、尿器、紙おむつ)等を実技演習する。 ・OJT等を想定した内容(現場の事例や最新情報等)で実施する。 |
| | <p>⑪ 睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護</p> | 6 | 3.75 | 2.25 | <p>9(11) 問題1 ～ 問題4</p> <p><添削課題出題ポイント></p> <ul style="list-style-type: none"> ・睡眠に関する基礎知識 ・睡眠障害 ・寝室環境 ・就寝時の支援 <p><演習内容>3.75時間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ベッドメイキング、安眠のための介護の工夫、環境の整備(温度や湿度、光、音、よく眠るための寝室)、安楽な姿勢、じょくそう予防等を実技演習する。 ・OJT等を想定した内容(現場の事例や最新情報等)で実施する。 |

| | | | | | |
|--------------------------|------------------------------|---|---|---|---|
| | ⑫ 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護 | 3 | 0 | 3 | 9(12) 問題1 ～ 問題4 <添削課題出題ポイント> ・ターミナルケアの考え方 ・ターミナルケアにおける介護職の役割と多職種との連携 ・介護従事者の基本的態度・留意点 ・死にゆく人のこころの過程 |
| 生活支援技術演習 | ⑬ 介護課程の基礎的理解 | 6 | <添削課題番号>9(13)問題1～問題4 <添削課題出題ポイント> ・介護過程の目的・意義・展開 ・介護過程とチームアプローチ <演習内容>3.75時間 ・個別援助計画書を作成する。 ・必要に応じた講義演習等の補講を含めて実施する。 | | |
| | ⑭ 総合生活支援技術演習 | 6 | <添削課題番号>9(14)問題1～問題4 <添削課題出題ポイント> ・選択した2事例から問題を作成 Yさんへの今後の支援の方向性や介護サービスのポイント Yさんの車いすからベッドへの移乗介助における留意点 Oさんへの今後の支援の方向性や介護サービスのポイント Oさんのシーツ交換における留意点 <演習内容>3.75時間 ・事例の提示→ところとからだの力が発揮できない要因の分析→適切な支援技術の検討→支援技術演習→支援技術の課題 ・事例は片マヒ、認知症の2事例を実施する。 ・必要に応じた講義演習等の補講を含めて実施する。 | | |
| 実習 | | 0 | — | | |
| 合計 | | 75 | | | |
| 10 振り返り (4時間) | | | | | |
| 項目名 | 時間(h) | 講義内容及び演習の実施方法 | | | |
| ① 振り返り | 2 | <添削課題番号>10(1)問題1～問題3 <添削課題出題ポイント> ・研修を通じて学んだこと ・今後継続して学ぶこと ・根拠に基づく介護についての要点 | | | |
| ② 就業への備えと研修終了後における継続的な研修 | 2 | <添削課題番号>10(2)問題1～問題3 <添削課題出題ポイント> ・継続して学ぶこと ・研修終了後における継続的な研修について | | | |
| 合計 | 4 | | | | |
| 全カリキュラム合計時間 | 130時間 | | | | |

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること